

石神井公園

# ふるさと文化館ニュース

Newsletter of Nerima Shakujiikoen Furusato Museum

2012.3 Vol.6

練馬区立  
石神井公園  
ふるさと文化館  
Nerima Shakujiikoen Furusato Museum

開館2周年を迎えた石神井公園ふるさと文化館は、様々な楽しい体験を通して、子供から高齢者まで世代を超えた交流の場となり、学習、観光にご利用いただいております。今後も区民とともに歩む地域博物館を目指してまいります。

## 収蔵品企画展

# 刀装具—中山コレクション—展

会 期：4月28日(土)～6月3日(日)

会 場：2階企画展示室 観覧無料

区内在住の中山彬氏が長年にわたって収集した、鬼の形をしたおに鐺つば(写真)など江戸時代の鐺をはじめ、多彩な意匠が凝らされた刀装具のコレクション約120点を紹介します。



## ギャラリー企画展

# 生誕150年 植物学者・牧野富太郎 パネル展

会 期：5月11日(金)～6月10日(日)

会 場：2階ギャラリー 観覧無料

日本の植物分類学の父と呼ばれ、1,500種以上の草花を命名し、練馬区とのゆかりも深い植物学者・牧野富太郎。その生誕150年を記念し、富太郎の人となりや事績を紹介するパネル展を開催します。

また、常設展示室「練馬の文化人」のコーナーでは、練馬区立牧野記念庭園記念館の協力により、富太郎が区内で採取した植物標本も展示します。

## 📖📍 練馬で研究を続けた牧野富太郎

牧野富太郎（1862～1957）は、関東大震災後の大正15（1926）年、収集した標本類の保存に適した環境を求め、東京府豊多摩郡渋谷町（渋谷区）から東京府北豊島郡大泉村上土支田（練馬区東大泉）に転居しました。

富太郎は、暇があるとひま胴乱どうらん（植物採集容器）を持って採集に出かけたといい、生涯で約40万点の標本（首都大学東京牧野標本館蔵）を残しています。

『牧野富太郎 植物採集行動録』明治・大正篇/昭和篇（高知県立牧野植物園、平成16年/17年）によれば、練馬区内で採集したことがわかる標本は、上京後の明治26（1893）年から昭和28（1953）年に病臥するまで、1,200点を超えています。標本に記された採集地には、自宅付近の「武蔵大泉」の他にも、「武蔵石神井」「武蔵三宝寺」「武蔵練馬」と記されたものも多くあり、区内のかつての自然を知ることができる資料といえます。



植物画を描く牧野富太郎  
(昭和28(1953)年 91歳)

## ギャラリー企画展

# ホタル—生命の輝き—写真展

会 期：6月13日(水)～7月31日(火)

会 場：2階ギャラリー 観覧無料

かつて練馬区では、石神井川や三宝寺池などでホタルが飛び交う光景が見られました。今では見ることができなくなってしまったゲンジボタルに関する写真パネルを展示し、ホタルの生態を紹介します。



# 収蔵品紹介

## 森田家文書

森田家文書は、江戸期から明治期の医学書と教養書を中心とする1,186点からなる文書群です。

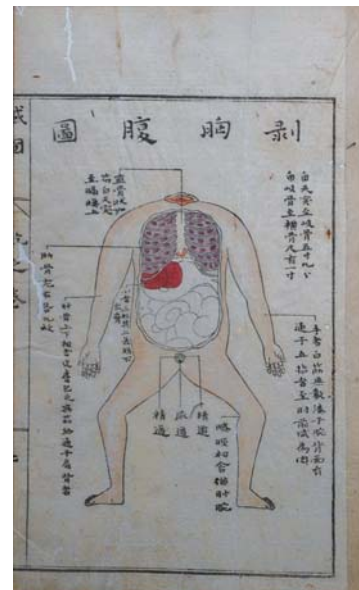
森田家は、はじめは漢方医として、お玉が池(千代田区)、次いで目黒で開業していました。しかし、現在の武蔵大学付近より下肥を取りにくる農民から、村に医師がないという話を聞き、練馬に移ったといます(『練馬区史』昭和33年)。蔵書は、森田家初代の文葦の頃から残っています。二代医の文超は、「于時 文政十一戊子年九月 三国流門人 森田文超 壽隆」と覚書を残していることから、文政11(1828)年に「三国流」の医術を修行していたことがわかります。「三国流」とは、江戸時代初めに南蛮・紅毛・漢方の三つの医術を学んだ吉田自休(?~1694)が開いた三国流外科のことです。本文書群にも、自休の著書『三一智集』の写本や自休の跡を継いだ吉田自庵(1644~1713)の秘伝の書『三明白大成集』の写本があります。このことから、文超が三国流外科の熱心な門人であったと推測されます。

文書群のうち医学書には、日本で初めて公許を得て実施した解剖を記録した山脇東洋(1705~1762)の『蔵志』や、本草書などで伝わる薬効を自ら試して検証した吉益東洞(1702~1773)の『薬徴』など、江戸時代の医者の基本文献とされるものが多く含まれていました。また、江戸周辺の薬草収集をしたことで知られる本草学者の岩崎灌園(1786~1842)が、飢饉の際に食用となる植物について解説した『救荒本草通解』の写本などもあり、入手が困難な書物は自ら書き写して蔵書としたことがわかります。

さらに、明治6(1873)年・明治8(1875)年の年記がある「処方日々簿」は、カルテに相当するもので、当時の処方などについて知ることができる資料です。

これらの文書のほとんどは、分類して13の木箱に納められていました。木箱の1つの背面に「明治二十一年初秋中院十三日 森田文葦三世医文逸代子々孫々勿失之云々(下略)」と、森田家三代医の文逸が、森田家の蔵書が散逸することを恐れて明治21(1888)年に整理をした旨が記されていました。

森田家文書は、江戸時代後半から明治期前半における医者蔵書のまとまって残っている貴重な資料群です。



山脇東洋『蔵志』乾宝曆9(1759)年



木箱に納められていた様子

## ミュージアムショップ新商品のお知らせ

館内ミュージアムショップでは、展示図録や当館オリジナルグッズなどを取りそろえています。この度、国の天然記念物に指定されている「三宝寺池沼沢植物群落」の中で、現在でも自生しているミツガシワ(写真左)とコウホネ(写真右)をモチーフとしたふろしきが新たに加わりました。(綿100%、縦横50cm 1枚710円)。

来館記念に、石神井公園散策の思い出にいかがでしょうか。



ふろしきの活用は参考例です

# 催し物のご案内(3月~6月)

2012 3		2012 4	
3日(土)	ひなまつり	7日(土) 13時~	でんでんだいこをつくろう
3日(土) 13時~	昔の衣装を着てみよう	14日(土) 10時~	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう
10日(土) 10時~	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	19日(木) 14時30分~	文化講演会「ポストン美術館 日本美術の至宝」
17日(土) 11時~ 14時~	いろり端で聞く昔ばなし	21日(土) 11時~ 14時~	いろり端で聞く昔ばなし
24日(土) 13時~	火おこし体験	28日(土) 13時~	竹とんぼであそぼう
24日(土)~28日(水)	開館2周年記念行事(昔の生活体験など)	4/29日(日・祝)~ 5/6日(日)	ゴールデンウィークイベント
31日(土) 11時~ 14時~ 14時30分~	いろり端で楽しむかみしばい		
2012 5		2012 6	
4/29日(日・祝)~ 5/6日(日)	ゴールデンウィークイベント	2日(土) 13時~	万華鏡をつくろう
5日(土・祝)	端午の節句	9日(土) 10時~	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう
5日(土・祝) 13時~	かぶとを折ろう	16日(土) 11時~ 14時~	いろり端で聞く昔ばなし
12日(土) 10時~	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	中旬 19時30分~	ホテルのタベ ※開催時期はホテルの羽化の状況によります
18日(金)	国際博物館の日記念行事	23日(土) 13時~	勾玉をつくろう
19日(土) 11時~ 14時~ 14時30分~	いろり端で楽しむかみしばい	30日(土) 13時~	ちがや馬をつくろう
26日(土) 13時~	かざぐるまをつくろう		
27日(日) 14時~	牧野富太郎と植物分類学		

- ふるさと文化講座** 歴史・民俗・自然など、さまざまなテーマの講演です。事前申込制です。募集時期・方法等については、ねりま区報やホームページ等でお知らせいたします。
- ふれあい土曜事業** 子供向けの事業ですが大人の方も参加できます。いろいろなものを作ったり、遊んだりします。当日直接会場申込制(先着順)です。一部有料のものもあります。
- 季節体験事業** 館隣接の旧内田家住宅などで歳時にあわせた年中行事を再現し、季節ごとに飾りつけなどを行います。

## 展覧会

ギャラリー	ギャラリー企画展「生誕150年 植物学者・牧野富太郎」パネル展 5月11日(金)~6月10日(日)
	ギャラリー企画展「ホテルー生命の輝きー」写真展 6月13日(水)~7月31日(火)
企画展示室	特別展「江戸の妖怪」展 開催中 3月4日(日)まで
	収蔵品企画展「刀装具ー中山コレクションー」展 4月28日(土)~6月3日(日)

※会期・内容等は変更になる場合があります。また、このほか常設展示解説会等も行っています。詳細については、ねりま区報、ホームページ等をご覧ください。

## 利用のご案内

- 開館時間** 午前9時~午後6時(会議室の利用は、午前9時~午後9時30分)
- 休館日** 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その直後の祝休日でない日)  
年末年始(12月29日~1月3日)、臨時休館日
- 入館料** 常設展示無料 ※特別展観覧料は有料
- 交通案内**(平成24年2月現在)
  - 西武池袋線「石神井公園駅」下車徒歩15分
  - 西武新宿線「上井草駅」下車徒歩20分
  - 西武バス(荻14)「JA東京あおば」下車徒歩5分  
(石神井公園駅南口~上井草駅~荻窪駅)
  - みどりバス「JA東京あおば」下車徒歩5分  
(関町ルート 関町福祉園~武蔵関駅南口~上石神井駅~練馬高野台駅~順天堂練馬病院)
  - 西武バス(荻15)「三宝寺池」下車徒歩2分  
(長久保~大泉学園駅南口~上井草駅~荻窪駅~阿佐ヶ谷駅)



石神井公園ふるさと文化館ニュース  
Vol. 6

平成24年3月1日発行  
編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館  
住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16  
TEL 03-3996-4060 FAX 03-3996-4061  
ホームページ <http://www.city.nerima.tokyo.jp/manabu/bunka/furusato/>